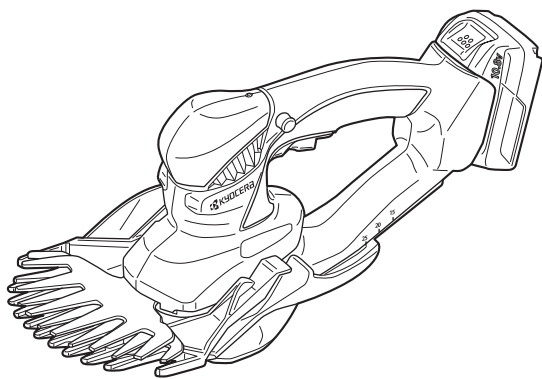


充電式バリカン

BB-1100L1

BB-1100 (本体のみ仕様)



※ BB-1100 (本体のみ仕様)には、充電器・電池パックは付属していません。



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
充電式バリカン	
ご使用に際して	9
騒音について	12
各部の名称	13
仕様	14
付属品	15
用途	15
別販売品	16
充電について	17
充電方法	
電池パック・充電器について	
電池パックの保管について	
電池寿命について	
ご使用前の準備・点検	21
作業する場所に関して	
スイッチ操作の確認	
電池パックの取付け、取外し	
スイッチ操作	22
グラスシェーバーの取外し、取付け	22
キワ刈りガイドの取外し、取付け	24
刈込み高さ調節	25
刈込み作業	26
上手な刈り方	
生垣や植込みの簡単なお手入れ	
本体が動かなくなったときには	29
ブレードのお手入れ	30
ブレードの研磨	
ブレードの交換	31
各部取付けネジの点検	33
使用後の手入れ	33
作業後の保管	34
修理について	34
故障かなと思ったら	35
保証書	裏表紙

安全上の注意

主機能・名称・用途

準備

使い方




保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」と「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡ししてください。

■危険表示・警告表示・注意表示について












表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 警告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「⚠ 危険」・「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 必ず守る	 よく読む	 点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 感電注意	 回転部注意	

⚠ 危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは火への投入、加熱をしないでください。



禁止

電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

- ・ 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- ・ 電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



禁止

電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。

- ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

- ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが破損したり、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

警告

作業場の環境について



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。



必ず守る

・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。



禁止

・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

個人的な警告事項



必ず守る

不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。



感電注意

感電に注意してください。

・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



必ず守る

保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



必ず守る

防音保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。

・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

警告

工具の使用と手入れ



必ず守る

次の場合は充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。



禁止

指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

正しく充電してください。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・ 周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグを抜く

- ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



必ず守る

電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。

- ・ 失明のおそれがあります。



禁止

使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。



禁止

電池パックを電子レンジに入れしないでください。

- ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。

安全の注意

主機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 警告

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

ご使用済の電池パックは、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。

- ・ 棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。



禁止

電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気が付いたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。



必ず守る

電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

- ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

作業場の環境について



必ず守る

作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。



禁止

子供を近づけないでください。

- ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 注意

電気に関する安全事項



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

個人的な注意事項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止

安全上のご注意

⚠ 注意

個人的な注意事項
工具の使用と手入れ



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



禁止

きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。



必ず守る

・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



禁止

作業に合った充電工具を使用してください。

・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。

・指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。



必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



よく読む

・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。

・充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。



禁止

⚠ 注意

工具の使用と手入れ



必ず守る



よく読む



点検・確認

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

電池パック・充電器に関する安全事項



必ず守る

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。



必ず守る

電池パックは出荷前に若干量の充電をしておりますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。



必ず守る

電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。

- ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。



禁止

電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。

- ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

安全の注意

主機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注意

修理とメンテナンス



分解禁止



必ず守る



禁止

充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

充電式バリカンご使用に際して

- 先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式バリカンをご使用の際には、さらにつきに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

作業の前に



必ず守る

作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。
・電線などがあると、ブレードが触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。

安全作業のために



必ず守る

使用中は、本体を確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。



回転部注意

使用中は、ブレードに手や顔などを近づけないでください。
また、スイッチを切ってもブレードは数秒間、惰性で動いていますので注意してください。
・けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

警告

安全作業のために



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。



禁止

雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた芝の刈込みはしないでください。

・感電のおそれがあり、事故の原因になります。



禁止

セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。

・セフティ機構が働かず、けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

電池パック・充電器に関して



禁止

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

・端子に金属類を接触させないでください。
・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてしないでください。
・雨や水に濡らさないでください。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

・爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
・綿ぼりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

安全の注意

主機能・名称・用途










準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注意

作業の 前に	 よく読む	ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。 ・ 確実でないと、外れたり、けがの原因になります。
	 必ず守る	刈込みをする前に、芝生内の小石、枝など異物を取除いてください。 ・ 刃こぼれだけでなく、飛び散る石や破片などでけがの原因になります。
安全	 必ず守る	本機は、芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定された以外の用途（雑草や小枝の刈込み）に使用しないでください。 ・ けがや故障の原因になります。
	 必ず守る	刈込み中ブレードを無理に押しつけたりすると、ブレードが破損することがありますので注意してください。
作業の ため	 禁止	スイッチを引いた状態で固定しないでください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る	運転させたまま、本機を放置しないでください。 ・ けがの原因になります。
に	 必ず守る	使用しないときや持運び、部品交換のときは、ブレードがむき出しにならないようにブレードカバーを取付け、電池パックを本体から取外してください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る	ブレードの交換や研磨などブレードの取扱いには十分注意をし、手袋や布などで手を保護してください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る	充電中、異常発熱などの異常に気づいたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。 ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。



使用前に取扱説明書を最後まで必ずよくお読みください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちくださるようお願いいたします。



注意

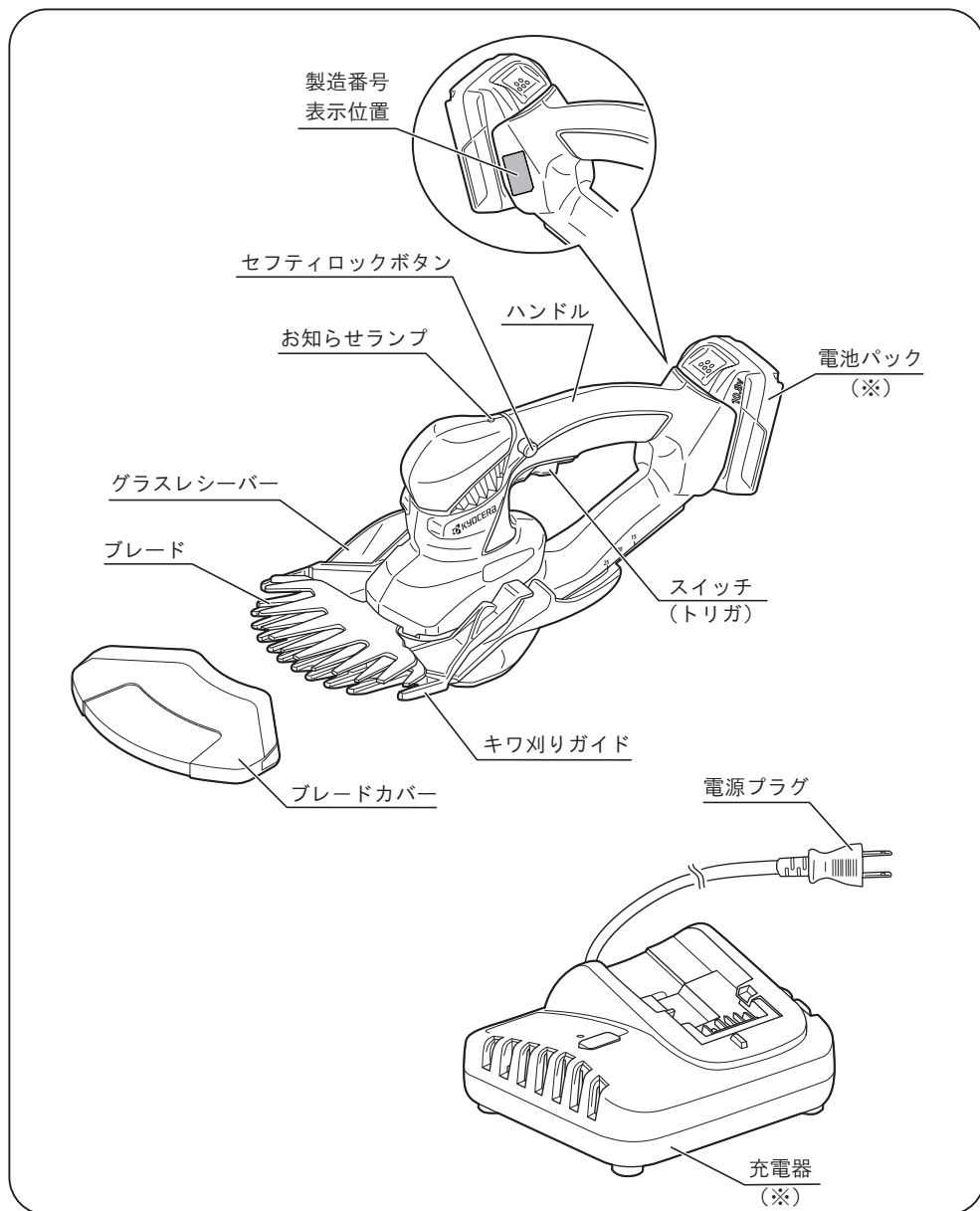


必ず守る

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

主要機能・名称

■各部の名称



(※) 本体のみ仕様には、充電器・電池パックは付属していません。

仕様

■仕様

●本体

- ・ ストローク数（無負荷時）…………… 1,250min⁻¹
- ・ 刈込幅 …………… 160mm
- ・ 刈込高さ …………… 15, 20, 25mm
(ガラスレシーバーを取外すと 10mm)
- ・ ブレード駆動方式 …………… 両刃駆動
- ・ 電源 …………… DC 10.8V（リチウムイオン）
- ・ 連続使用時間（無負荷時）※¹ …………… 40分
- ・ 本体寸法※²（長さ×幅×高さ）…………… 343×162×131mm
- ・ 質量※³ …………… 1.1kg

※1 満充電にしたときの参考値です。電池容量および、作業状況などにより異なります。

※2 キワ刈りガイド、ガラスレシーバー、電池パック（B-1115L）取付け時の値です。ブレードカバーは含みません。

※3 電池パック（B-1115L）取付け時の値です。ブレードカバー、キワ刈りガイド、ガラスレシーバーは含みません。

●電池パック（B-1115L）

- ・ 電圧 …………… DC10.8V
- ・ 電池 …………… リチウムイオン電池
- ・ 容量 …………… 1,500mAh
- ・ 質量 …………… 0.21kg

●充電器（UBC-1803L）

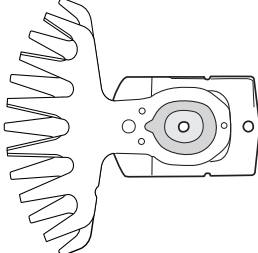
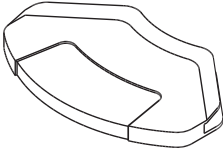
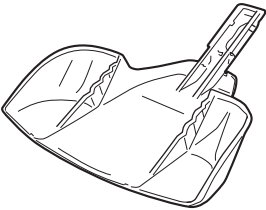
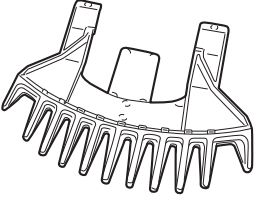
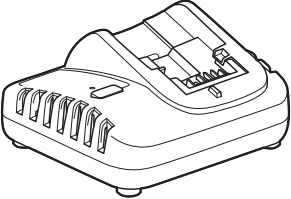
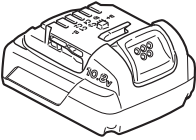
- ・ 電源 …………… AC 100V 50/60Hz
- ・ 定格出力電圧 …………… DC 10.8 - 18V
- ・ 標準充電時間 …………… 71分 ※⁴
- ・ 質量 …………… 0.31kg

※4 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途

■ 付属品

<p>ブレード 160mm 1 (本体取付)</p> 	<p>ブレードカバー (本体取付) 1</p> 
<p>グラスレシーバー (本体取付) ... 1</p> 	<p>キワ刈りガイド (本体取付) 1</p> 
<p>充電器 (UBC-1803L) 1 (※)</p> 	<p>電池パック (B-1115L) 1 (※)</p> 

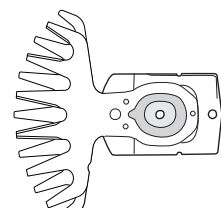


(※) 本体のみ仕様には、充電器・電池パックは付属していません。



■ 用途

- ・ 芝の刈込み、キワ刈り
- ・ 庭木の新芽、新葉の刈込み

別販売品

■ 別販売品

<p>ブレード 160mm</p> 	<p>電池パック、充電器 (19 ページ参照)</p>	<p>刃物クリーナー (300mL)</p>  <p>用途： ガーデン機器や手工具の刃物に付着した樹木のヤニ・シブや汚れの洗浄</p>
<p>刃研ぎ用研磨セット</p>  <p>刃研ぎ用研磨材 (90g) 筆 (研磨材塗付け用) ダイヤモンドヤスリ (#200)</p> <p>※刃研ぎ用研磨材、ダイヤモンドヤスリは単品でもお買い求めいただけます。</p>		

	<ul style="list-style-type: none">・ 別販売品は純正品をお買い求めください。 別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。・ 別販売品は予告なく変更することがあります。 <p><電子カタログ> https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/</p> 
--	---

安全の注意

主機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

準備

■充電について

危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

警告



禁止

正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。



必ず守る

- ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。



電源プラグ
を抜く

- ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 注意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

● 充電方法

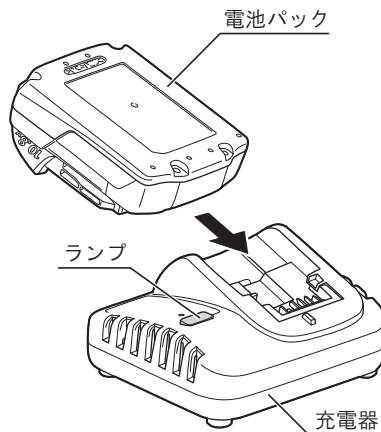
- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。充電状態は充電器のランプで表示しています。(19 ページ 表 1 参照)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。

3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から取り出します。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。









- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が0℃～40℃の間で充電できます。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

準備

充電器（UBC-1803L）ランプ表示

表 1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯 	充電している状態。
保護充電中	赤	点 滅 	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ※充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅  (交互)	充電できない状態。 以下の原因が考えられます。 ・電池パックのさし込みが不十分。 ・電池寿命または電池パック、充電器の故障。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池パックは、“保護充電中”になる場合があります。保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

●電池パック・充電器について

- ・本機に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は表 2 の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表 2 をご確認ください。

表 2

充電器		電池パック（10.8V）		リチウムイオン電池	
				B-1115L 1,500mAh	B-1125L 2,500mAh
充電時間 ※1	UBC-1803L ※2		71 分	102 分	
	UBC-1802L ※2		26 分	41 分	
	UBC1804L	80%充電 ※3 (実用充電)	16 分	29 分	
		満充電	21 分	38 分	

※1 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 充電器 UBC-1803L（付属品）、UBC-1802L は、満充電時の時間です。

※3 80%充電（実用充電）は、満充電の 80%の充電状態です。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

●電池パックの保管について

注意



禁止

- ・電池容量が少ない状態で放置しないで充電してください。
お知らせランプが点滅する場合は、充電してから保管してください。
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。



必ず守る

- ・長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

準備

■ご使用前の準備・点検

●作業する場所に関して

- ・ 芝の刈込みをする前に、小石や枝などの異物をよく取除いてください。

●スイッチ操作の確認

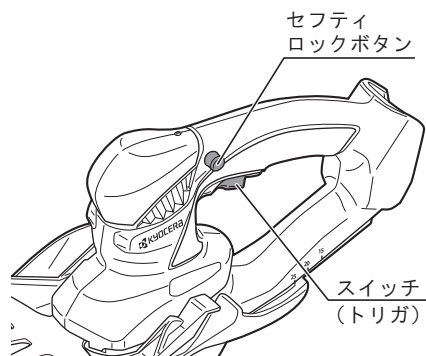
警告



必ず守る

- ・ スイッチ操作の確認は、電池パックを取付ける前に行なってください。

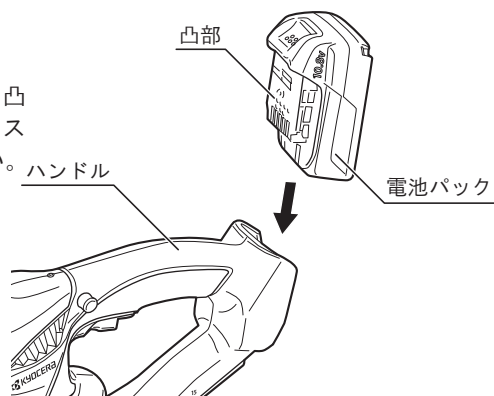
- ・ スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したときに、トリガが戻ることを必ず確認してください。



●電池パックの取付け、取外し

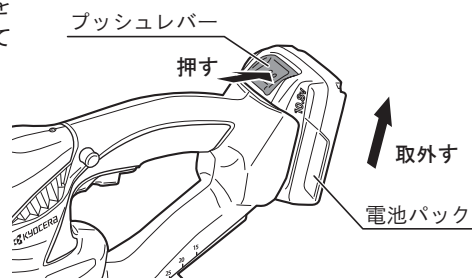
(取付け)

- ・ 本体のハンドル内側の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。



(取外し)

- ・ プッシュレバーを押さえて、電池パックを矢印方向にまっすぐスライドして取外してください。



使い方

■スイッチ操作

⚠ 警告



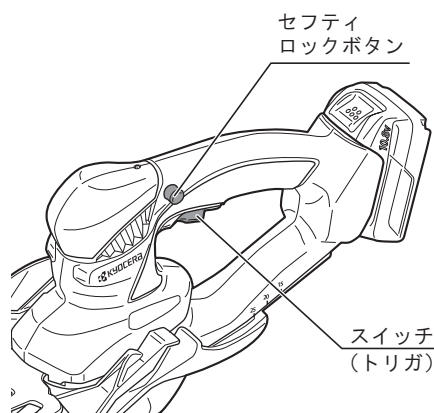
必ず守る

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。切るときはトリガを放すと切れます。



スイッチを切った直後に再度スイッチを入れると、保護回路が働き、本体が動かない場合がありますが、異常ではありません。



■グラスレシーバーの取外し、取付け

⚠ 警告



必ず守る

- ・グラスレシーバーの取外し、取付けのときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

- ・グラスレシーバーの取外し、取付けのときは、必ずブレードにブレードカバーを取付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

- ・グラスレシーバーを取付けて作業すると、刈取った芝を受け止め、作業後の清掃が楽になります。

安全の注意

主機能・名称・用途

準備

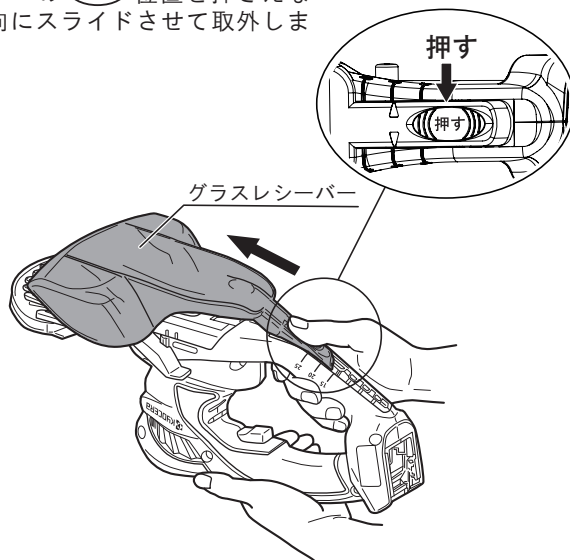
使い方

保守と点検

使い方

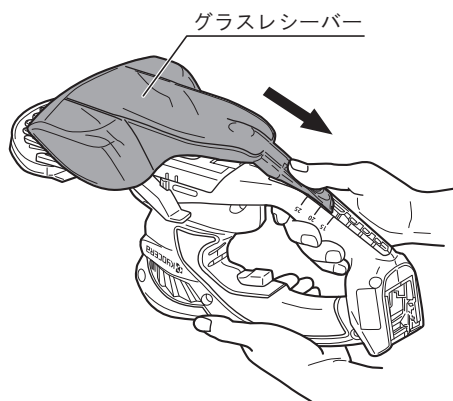
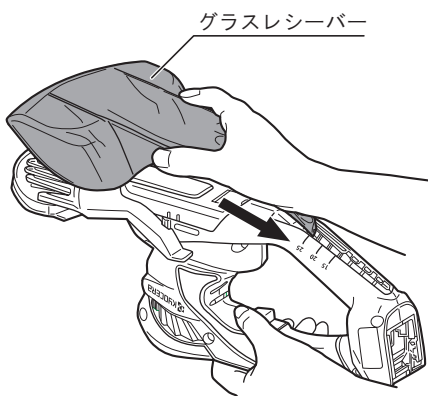
(取外し)

- ・ グラスレシーバーの **押す** 位置を押さえながら矢印の方向にスライドさせて取外します。



(取付け)

- ・ 本体の溝にグラスレシーバーをさし込み、**押す** 位置を押さえながら矢印の方向にスライドさせて取付けます。



■キワ刈りガイドの取外し、取付け

⚠ 警告



必ず守る

- ・キワ刈りガイドの取外し、取付けのときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

- ・キワ刈りガイドの取外し、取付けのときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

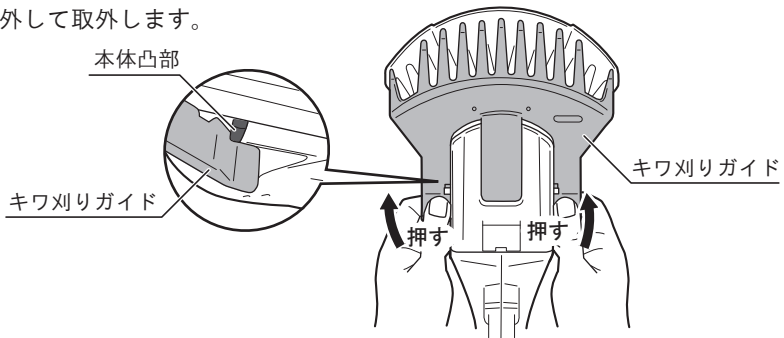
- ・キワ刈りガイドを取付けて作業すると、壁際の芝を刃に寄せて刈取ることができ、壁や刃を傷付けずにキワ刈りが行なえます。



伸びすぎた芝や密集した芝の刈込みの際は、キワ刈りガイドは取外してください。

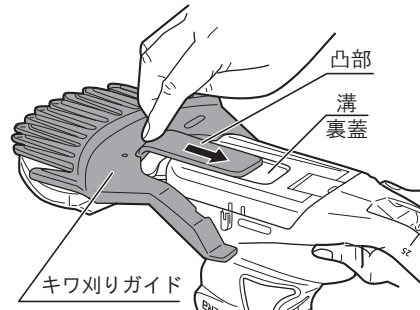
(取外し)

- ・キワ刈りガイドの両端を矢印方向に押し、本体の凸部から外して取外します。



(取付け)

- ・本体裏蓋の溝にキワ刈りガイドの凸部をさし込んで取付けます。「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。



使い方

■刈込み高さ調節

⚠ 警告



必ず守る

- ・ 刈込み高さを調節するときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動による、けがの原因になります。

⚠ 注意



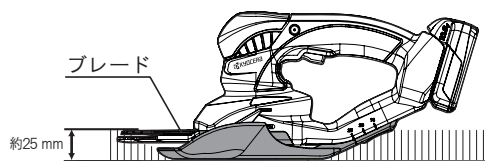
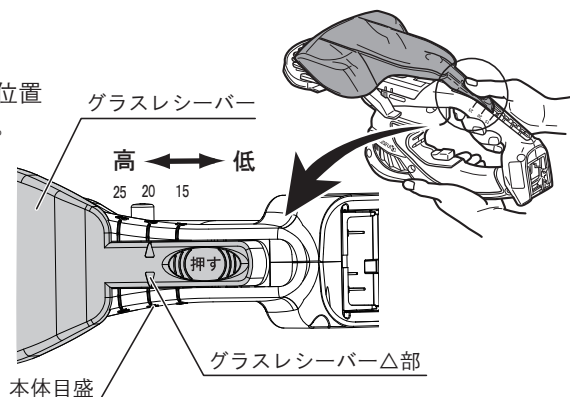
必ず守る

- ・ 刈込み高さを調節するときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

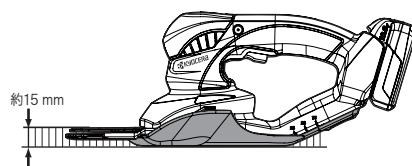
- ・ グラスレシーバーを動かして、芝の刈込み高さを3段階（15、20、25mm）に調節することができます。グラスレシーバーを外して使用すると、刈込み高さは約10mmになります。
- ・ ブレードが芝面と平行移動するので、芝を均一な高さに刈込みできます。

（調節方法）

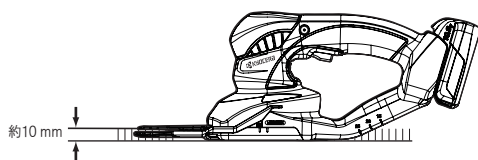
1. グラスレシーバーにある（押す）の位置を押さえながらスライドさせます。
2. グラスレシーバーの△部と本体の目盛の位置を合わせます。



刈込みを高くした状態



刈込みを低くした状態



グラスレシーバーを外した状態

■刈込み作業

警告



必ず守る

- ・使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持しないと、けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ・使用中は、保護めがねを使用してください。
- ・使用中は、ブレードに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
万一、異物をかみ込んだときは、直ちにスイッチを切り、電池パックを本体から取外した後、異物を取除いてください。
- ・雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた芝の刈込みはしないでください。感電のおそれがあり、事故の原因になります。

注意



必ず守る

- ・本機は芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用しないでください。
 - ・けがや故障の原因になります。
 - ・指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用すると、早期に刃物が切れなくなり、また故障の原因にもなります。
- ・炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下で作業をする場合には、暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ・ブレードや付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・刈込みをする前に、小石・枝など異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

使い方



必ず守る

- ・使用前と作業中の1時間に1回程度は、ブレードに注油（マシン油、機械油など）をしてください。注油は適量とし、余分な油はふき取ってください。
- ・作業途中（休憩時など）に、本機を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行なわれず、モーター焼けや機械故障の原因になります。
- ・モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、モーター焼けの原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。
- ・連続使用の場合、負荷のかけ過ぎで使用を続けるとモーター焼けの原因になります。本体が熱くなるときは、使用を中止して温度が下がるまで待ってください。
- ・連続作業は疲労のため事故の原因になります。1回の作業時間は30分を目安とし、10～20分休憩してください。
- ・伸びすぎた芝や密集した芝の刈込みの際は、キワ刈りガイドは取外してください。



禁止

- ・刃先を下げて使用しないでください。刃先が土や小石に触れた状態で使用すると、ブレードの切れ味が悪くなります。

（作業手順）

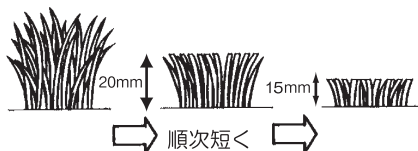
1. 必要に応じて刈込み高さを調節します。（25 ページ『■刈込み高さ調節』参照）
2. 本体に電池パックを取付けます。（21 ページ『●電池パックの取付け、取外し』参照）
3. スイッチを入れます。（22 ページ『■スイッチ操作』参照）
4. 刈込み作業（27～28 ページ『■上手な刈り方』参照）
5. 作業が終わったらスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。

■上手な刈り方

●長い芝は日をおいて順次短く

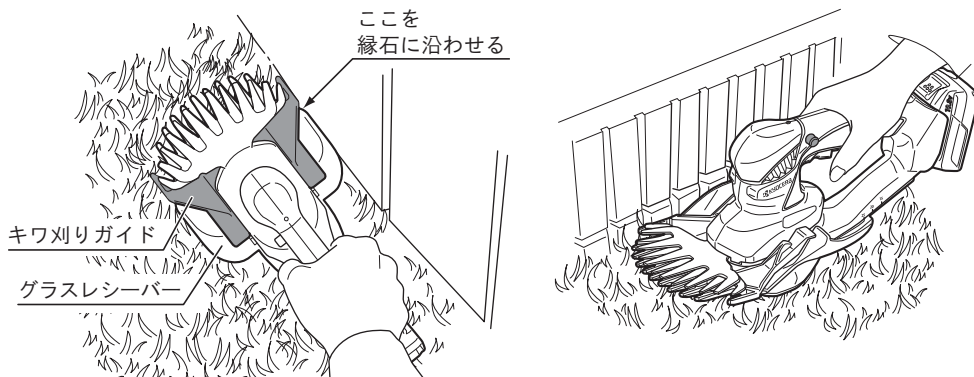
- ・芝があまり伸びないうちに刈ってください。
- ・芝が伸びすぎたときは、日をおいて順次短く刈ってください。

最初から短く刈ると、機械に無理が生じると同時に、芝を枯らすおそれがあります。



●キワ刈り

- ・キワ刈りガイドの側面を縁石に沿わせて刈込んでください。



必ず守る

- ・刃横を縁石に当てると跳ね返ります。
- ・ブレードにかえりや傷がついた時は、モーター焼けの原因となることがあります。ダイヤモンドヤスリなどで修正するか、新しいブレードと交換してください。

芝は手入れをするほど美しく育ちます。伸びすぎないうちにこまめに刈込んでください。刈取った芝は、かき集めて取除いてください。残していると、枯れて見苦しいだけでなく、病虫害発生の原因にもなります。

刈込み回数は、夏の生育期には月5～6回、冬の休眠期には月に1回、その他の時期は月2～3回を目安にしてください。

●生垣や植込みの簡単なお手入れ

- ・庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。

! 注意



必ず守る

- ・本機は芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用しないでください。
 - ・けがや故障の原因になります。
 - ・指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用すると、早期に刃物が切れなくなり、また故障の原因にもなります。
- ・はしごや木に登るなど、不安定な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。

使い方

本体が動かなくなったときには(保護回路作動 / 電池切れ)

警告



必ず守る

- ・ ブレードに異物がかみ込んだときは必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外した後、異物を取除いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

注意

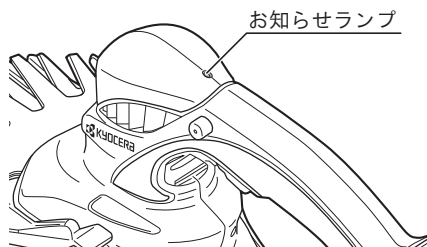


必ず守る

- ・ ブレードにかみ込んだ異物を取除くときは、手袋、ウエスなどで手を保護してから行ってください。けがの原因になります。

- ・ 本機には本体の保護および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また電池切れの場合も動きません。

本体が動かないときは、スイッチを入れ「お知らせランプ」の点灯状態を確認のうえ、下表を参考に原因を取除いてください。



本体が動かなくなった					
症状	スイッチを入れても動かない。				
お知らせランプ	点灯しない	点滅 → 消灯			
	原因	電池パックがきちんと取付けられていない	電池切れ※	ブレードに異物がかみ込んでいる	電池パックの温度が高い
処置	電池パックをきちんと取付ける	充電する	電池パックを外して異物を取除く	電池パックを常温まで冷ます	スイッチを切ってから5秒程度経過した後に再度、スイッチを入れる
処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください。					

※ 電池切れに近づくときお知らせランプが点灯し（このときは本体は動いている）、そのまま使用した場合、電池切れで本体が止まり、点滅・消灯します。

保守と点検

警告



必ず守る

・保守、点検などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。



分解禁止

・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

注意



必ず守る

・ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。けがの原因になります。



禁止

・作業直後のブレードは高温になっていますので触れないでください。やけどの原因になります。

■ブレードのお手入れ

※ブレードのお手入れに刃物クリーナーや刃研ぎ用研磨セットを別販売品として用意しておりますのでご利用ください。

- ・ブレードは硬めのブラシで表裏ともきれいに汚れを落とした後、機械油などの粘度の低い油を適量塗ってください。余った油はふき取ってください。



汚れたまま放置すると、ブレードの動きが悪くなり、故障の原因になります。

- ・小石などをかみ込んでブレードにかえりが出るなど傷ついたとき、エッジが摩耗し切れ味が低下したときは、ダイヤモンドヤスリなどで修正するか、新しいブレードと交換してください。(交換方法 31 ~ 33 ページ参照)

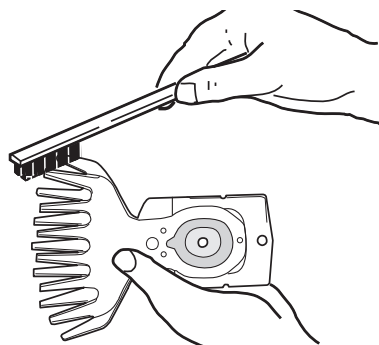
(ブレードの研磨)

- ・ダイヤモンドヤスリを使用して研磨する場合は、ブレード側面とすり合わせ面との角が丸くならないように注意してブレード側面を研磨してください。

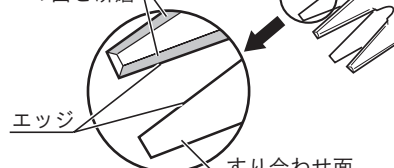


必ず守る

ダイヤモンドヤスリで、すり合わせ面は研磨しないでください。

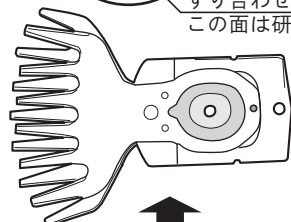


ブレード側面
この面を研磨



エッジ

すり合わせ面
この面は研磨しない



ブレード(上刃)



ブレード(下刃)

ベース板

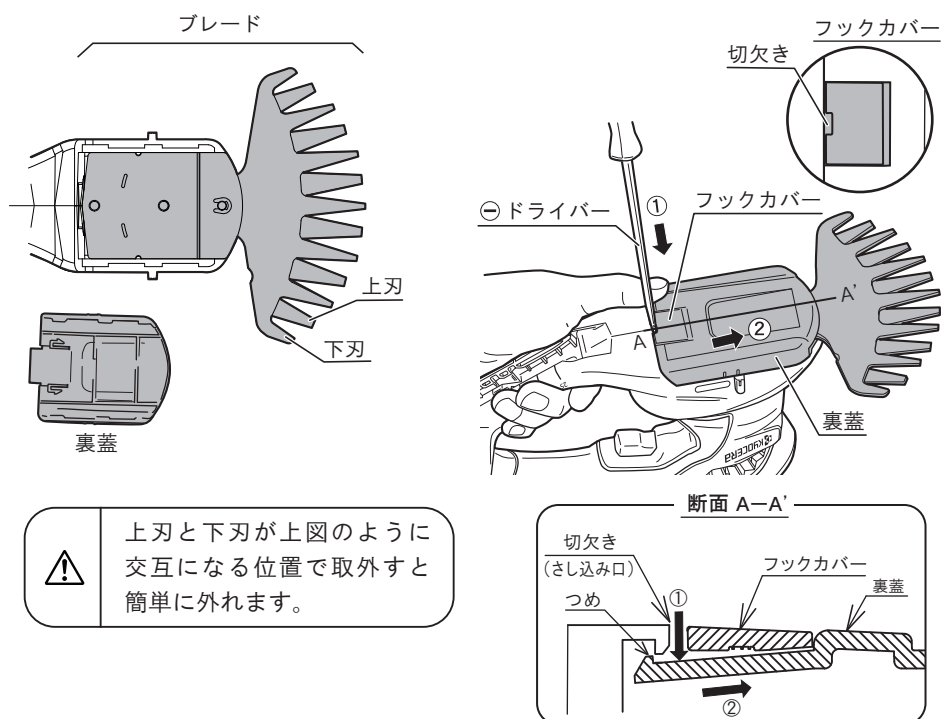
保守と点検

■ ブレードの交換

- ・ ブレードは消耗品です。切れ味が落ちたときは新しいブレードに交換されることをお勧めします。ブレードの交換は下記の手順で行なってください。

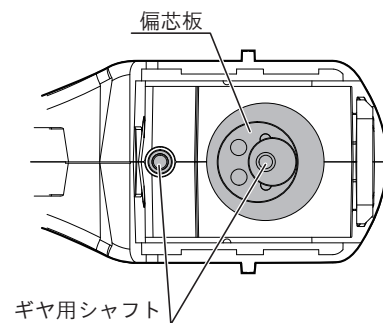
● 取外し

1. グラスレシーバー、キワ刈りガイドを取外します。
2. フックカバーの切欠きに⊖ドライバーをさし込み、矢印①の方向に押込んで、つめの引っ掛かりを解除します。(断面 A-A' 参照)
3. つめの引っ掛かりを解除したまま、矢印②の方向にスライドさせ、裏蓋とブレードを取外します。




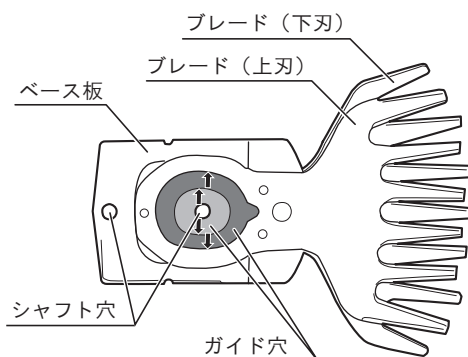
●取付け

1. 偏芯板を手で回し、ギヤ用シャフトと偏芯板が図の位置になるようにします。




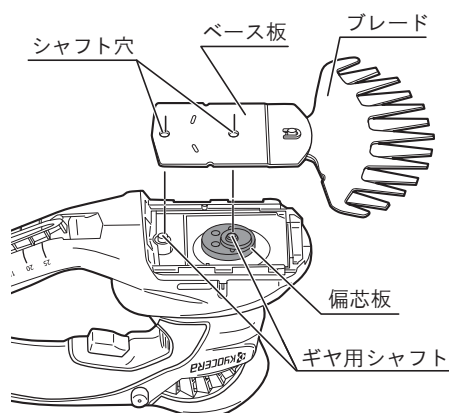
2. シャフト穴に対してガイド穴が左右対象になるようにブレードとベース板を動かして合わせます。

 取付けの際は、ガイド穴の内側(矢印)部分に少量のグリスを塗布してください。また、ブレードには機械油などの粘度の低い油を塗ってください。



3. 2本のギヤ用シャフトと偏芯板をベース板のシャフト穴およびブレードのガイド穴に合わせてブレードを取付けます。ベース板に2本のギヤ用シャフトが確実に納まっていることを確認してください。

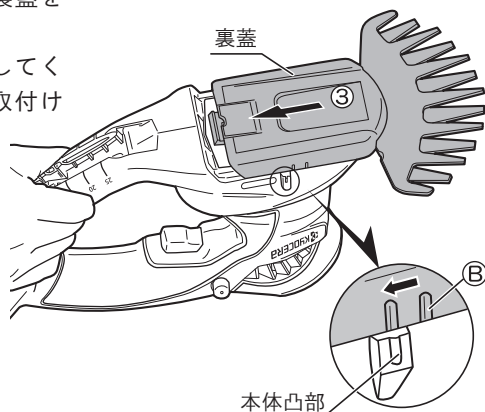
 偏芯板についているグリスはふき取らないでください。ゴミなどの異物が混ざった場合には、異物をきれいに取除いてください。



保守と点検

4. 裏蓋でブレードを押さえ、本体の凸部と裏蓋側面のB部が合うように矢印③方向に裏蓋をスライドさせて取付けます。

裏蓋が確実に取付いていることを確認してください。（「カチッ」と音がするまで、取付けてください。）



■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

⚠ 注意



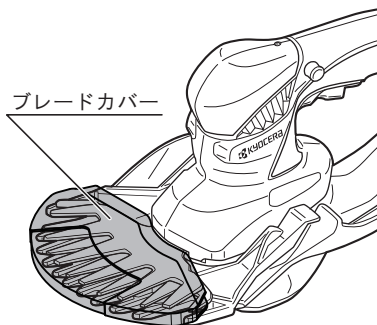
必ず守る

- ・別販売品の刃物クリーナー、市販のヤニ取りスプレーや潤滑剤を使用する場合は、ブレード以外の部品にかけないようにしてください。プラスチック部品など劣化するおそれがあります。

- ・本体は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。
- ・ブレードのお手入れに刃物クリーナーを別販売品として用意しておりますのでご利用ください。

■ 作業後の保管

- ・ ブレードカバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。



- ・ 電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

■ 修理について

- ・ 本機は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症状	原因	処置	参照ページ
充電器	充電できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	18
		電池パックが充電器に確実にさし込まれていますか。	電池パックを奥まで確実にさし込んでください。	18
		電池パックまたは充電器の充電端子が汚れていませんか。	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		電池パックが高温になっていませんか。	電池パックを十分冷ましてから充電してください。	19
	充電開始後、3時間くらい経過しても充電完了ランプが点灯しない	電池パックまたは充電器の異常と考えられます。	19 ページ「充電器ランプ表示」の項目を確認してください。故障が考えられる場合は電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	—
本体	動かない	電池パックが確実に取付けてありますか。	電池パックを取外して、工具本体の電池取付け部分に異物が混入していないか確認してください。また、電池パック端子部に汚れなどが付着していないか確認してください。電池パックは確実にさし込んでください。	21
		ブレードの取付け方が間違っていないですか。	モーターが回転しているにもかかわらず、ブレードが動かない場合、ブレードの取付け方に誤りがある可能性があります。ギヤ部が間違いなく取付けられているか確認してください。	31 ~ 33
		保護回路が作動していると考えられます。	スイッチを入れた時に「お知らせランプ」が点灯する場合は、29 ページの表を参考に原因を取除いてください。	29

	症状	原因	処置	参照ページ
本体	動かない	ブレードに異物が挟まっていませんか。	電池パックを外します。ペンチなどでゆっくり異物を取除いてください。 <u>異物を取除いたとき、反動でブレードが動くことがありますので、十分注意してください。</u>	—
			サビなどでブレードが動かなくなることがあります。硬めのブラシなどでサビを取除いてください。	30
		大量の芝を刈込んで、過負荷状態になっていませんか。	過負荷状態になるとモーター保護回路が働き、モーターが停止する場合があります。スイッチを切り、電池パックを外してから過負荷の原因を取除いてください。	29
	動かない	ブレードが傷ついたり、変形していませんか。	ブレードをダイヤモンドヤスリなどで研磨してください。研磨しても切れ味がよくならないときは、寿命とお考えいただき、新しいブレードをお買い求めください。	30
			ブレードが古くなっていますか。	新しいブレードに交換してください。
刈込みが上手にできない	ブレードの切れ味が悪くなっていますか。	サビを硬めのブラシなどで取除き、ブレードをダイヤモンドヤスリなどで研磨してください。研磨しても切れ味がよくならないときは、寿命とお考えいただき、新しいブレードをお買い求めください。	30	

故障かなと思ったら

	症状	原因	処置	参照ページ
本体	異音がする	ブレードに異物が付着し、動きが悪くなっていませんか。	ブレードの清掃と注油をしてください。	30
		ブレードに傷が有りませんか。	ダイヤモンドヤスリなどで研磨して取除いてください。	30

※ これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ

 **0570-666-787**

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	BB-1100	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話	()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

